

科目名	楽譜学	授業期間	秋学期
担当教員	村田千尋	科目 No.	CMC1143
受講対象	全専攻 1～4年	単位数	2単位

目 標 ／ 概 要	<p>現代の音楽界において、楽譜は演奏のためにはなくてはならないものである。しかし、我々は楽譜の特性や限界を正しく知って取り扱っているのだろうか。例えば、楽譜はどのようにして選べばよいのだろうか。良い楽譜、悪い楽譜があるのだろうか。楽譜に書いてあることは絶対に正しいのだろうか。楽譜に全てが書かれているのだろうか。楽譜について深く学ぶことによって、音楽を学ぶにあたっての新しい方向性を開くことを目指す。</p> <p>2017年1月の段階では詳しい内容を示すことは出来ないため、参考までに昨年度の日程を示す。</p>
-----------------	--

授 業 計 画	1	I 楽譜の歴史
	2	II 演奏理論研究（楽譜の読み方） 1 楽譜の解釈と装飾音 a バッハのトリル
	3	II 演奏理論研究（楽譜の読み方） 1 楽譜の解釈と装飾音 b 19世紀後半のトリル
	4	II 演奏理論研究（楽譜の読み方） 1 楽譜の解釈と装飾音 c 前打音
	5	II 演奏理論研究（楽譜の読み方） 1 楽譜の解釈と装飾音 d 任意装飾とマニール
	6	II 演奏理論研究（楽譜の読み方） 2 演奏法の変化 a リズムの変更
	7	II 演奏理論研究（楽譜の読み方） 2 演奏法の変化 b デュナーミクとアゴーギク
	8	III 楽譜の選び方／楽譜の信頼性 1 エディション研究 a 課題提示
	9	III 楽譜の選び方／楽譜の信頼性 1 エディション研究 b 解説
	10	III 楽譜の選び方／楽譜の信頼性 2 原典版と解釈版 a 原典版
	11	III 楽譜の選び方／楽譜の信頼性 2 原典版と解釈版 b 混合版の危険性
	12	III 楽譜の選び方／楽譜の信頼性 2 原典版と解釈版 c 補正と訂正
	13	III 楽譜の選び方／楽譜の信頼性 2 原典版と解釈版 d 楽器の限界
	14	III 楽譜の選び方／楽譜の信頼性 2 原典版と解釈版 e 解釈版
	15	IV まとめ

準備学習の内容	レポート課題を必ず提出すること。 復習を怠らないこと。					
履修上の注意	出席を重視する。 万が一欠席する場合は、必ず事前に欠席願いを提出すること。 上に示した内容は、いずれも学生自身が考え、作業することによってのみ達成できるものである。 講義で示す内容は、あくまでも考えるためのヒントであり、各自が自分で考える習慣を獲得して貰いたい。 履修に当たっては、学生諸君の継続的努力を期待する。					
評価方法	試験	課題(レポート含)	発表	平常点	その他	合計
		100%		○		100%
	補足	複数のレポートを課す。出席を重視する。				
教材等	プリントを配付する。 参考書：村田千尋『音楽の思考術』音楽之友社2000年					